

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	固体音小委員会		主 査 名：漆戸幸雄 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：羽入敏樹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	《設置目的》床衝撃音および固体音の測定、評価、予測法の検討を行い、AIJES 等に反映させる。《初～2 年度》1. ケーススタディによる床衝撃音予測計算の課題の抽出、整理。2. ケーススタディ用実測データの収集。3. タイヤ衝撃源とボール衝撃源による重量床衝撃音の関係性の分析、整理。4. 固体音関連の海外規格の調査、海外の研究動向調査。5. 成果公表の企画案の検討。《3～4 年度》1. 固体音予測手法の検討。2. 固体音関連の海外規格の調査、海外の研究動向調査。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：漆戸幸雄 (フジタ) 幹事：朝倉巧 (東京理科大学) 委員：稲留康一 (奥村組)、井上勝夫 (日大理工)、岩本毅 (三井住友建設)、田中ひかり (大成建設)、中澤真司 (鉄建建設)、濱田幸雄 (日大工)、平光厚雄 (国総研)、藤橋克己 (前田建設)、山内崇 (戸田建設)、笠井祐輔 (日総試)、矢入幹記 (鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	無		
2020 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	<del>1 (名称)</del> 参加者数 <del>名</del> <del>(資料名)</del>
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 集合住宅を対象とし、複数の手法で予測計算のケーススタディを行い、実測値との対応などの検討を実施した。 2. 新規のケーススタディ用として集合住宅の床衝撃音レベル 8 室、駆動点インピーダンス 7 室の実測データを収集した。 3. 国際学会 (Inter-Noise、ICA、ICSV) の関連論文のレビューを行った。 4. 成果の公表方法、時期、内容などの意見交換を実施した。
委員会活動の問題点 ・課題	・ゴムボールと dBA による床衝撃音の評価法とその評価尺度による居住者反応の対応性について検証し、学会としての評価基準の検討、提案。 ・ Covid-19 感染防止対策が求められる中で、オンライン開催中心となる小委員会活動の活性化。

## 2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・~~最終年度評価~~)

総合評価 (4段階評価)	A      (B)      C      D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>1.集合住宅を対象とした、複数の予測計算手法（インピーダンス法、拡散度法、モード関数法、時間領域差分法）による床衝撃音レベル、駆動点インピーダンスレベルの予測計算のケーススタディを昨年度に引き続き実施し、各予測手法の比較などの検討を進めた。</p> <p>2. 予測計算のケーススタディ対象として、今年度新規に2つの建物でスラブ素面の床衝撃音レベル8例、駆動点インピーダンスレベル7例の実測データを収集した。</p> <p>3.国際学会（Inter-Noise、ICA、ICSV）に参加した委員から情報提供などにより、床衝撃音、固体音に関連する国際的な研究動向に関する情報を小委員会内で共有した。</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染症流行の影響による開催回数の減少（3月実施予定を含め3回）により、新規のケーススタディの進捗に遅れが生じた。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。